

# Salon

Vol.139 2022年7月 夏号



ホール4F壁画 ポール・ゴッアマン作「レッスン」

CONTENTS

- 01 Prime Interview — パトス四重奏団
- 03 Phoenix Presents — 葵トリオ  
トップ・アンサンブル・シリーズ2022-2023  
窪田健志ティンパニリサイタル
- 05 Pick Up
- 07 Essay de say — 大阪らしさを体現するクラシックの祭典 福山修

# 溢れんばかりの情念を音楽に込めて パトス四重奏団

## 上敷領藍子さん、木下雄介さん



©Yusuke Kinoshita

ヴァイオリニストの上敷領藍子、ヴィオリストの木下雄介、チェリストの増田喜嘉、ピアニストの吉武優。関西出身を中心とした若手実力派メンバーが集う「パトス四重奏団」は、2019年に結成された。「パトス」とは、ギリシャ語で「情念」。穏やかな人柄のメンバーが揃うが、その内側にある音楽への思いと音色には、「パトス」を秘めている。そんな4人が、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールでのティータイムコンサートに登場。演奏するのは、スタンダードな一方難易度の高いモーツァルトのピアノ四重奏曲第1番、刺激的なスパイスが耳を引くマルティヌーのピアノ四重奏曲第1番、彼ならではの重層感と熟した音色が味わい深いブラームスのピアノ四重奏曲第3番。これらのプログラムは、「3年の歳月を重ねた今だからこそ取り組める」と語る。信頼で結ばれた4人の関係性や、彼・彼女らがこの公演で目指す音楽の世界観とは。4人のうち、上敷領と木下に聞いた。(取材・文: 桑田萌/音楽ライター)

### パトス四重奏団

2019年結成。日本を拠点とするピアノ四重奏団。これまでに、2019年枚方市(主催:枚方市文化国際財団)、木之本町(共催:木之本スティックホール)、京都市(青山音楽財団助成公演)にて、2020年は西宮市(主催:西宮市フレンドホール)、2022年には東京、滋賀県木之本町、名古屋でもコンサートを開催し、息の合った4人で奏でる音楽が好評を博す。メンバーは国内外を拠点とし、これまでにドイツ、イギリス、アメリカ、オランダとそれぞれが研鑽を積み、日本で出会った。4人それぞれの音楽が溶け合い、音で会話し、聴き手の心にダイレクトに届けることが出来る音楽のエネルギーの強さは、パトス四重奏団の大いなる魅力の一つである。「パトス」とはギリシャ語で「情念」を意味する。音楽が聴き手の心に触れ、眠った感情を呼び起こすことによって人々の精神の充実に繋がる事を願い、この名が付けられた。公式HP [www.pathosquartet.com](http://www.pathosquartet.com)

# 作品の本質を、最大のエネルギーで追い求める それがパトスらしさ

まず、結成経緯を教えてください。

**木下** 上敷領さんと吉武さん、増田さんと私、それぞれが知り合いました。みんなが「ピアノカルテットがしたい」と思っていて、紹介で出会いました。ピアノ四重奏って、常設のグループが少ないんですよね。でも、ピアノ四重奏作品は深くて素晴らしいものばかりで、これを長い年月をかけて常設グループとして取り組めたらどんなに良いのだろう、と思っていました。

**上敷領** 試しに一度4人集まって弾いてみたのですが、すぐに「これは音楽的な面で方向性や相性が合っているな」と感じる事ができました。音で自然とキャッチボールができるんです。この日は言葉で話す時間よりも、音を鳴らしている時間が長かったくらい。すぐに「何かコンサートをやろう」と話が進み、結成に至りました。

**木下** 相性の良い関係って、音楽に限らずそう簡単に出会えるものではありませんよね。日々たくさん演奏家と共演しても、バチッと合う方はそう多くありません。貴重な出会いでした。同じ歳であること、全員留学経験があり垣根なく接する姿勢だったのも、関係性を深められた理由として大きかったです。海外を経験すると自ずと柔軟性が培われる気がするのですが、そういったところも4人のベースにありますね。

**上敷領** やはり、音楽に対する考え方や音楽的なアプローチの方向性が似ているように思いますし、吉武さんと私は同じ先生にレッスンを受けたことがあったり、木下さんと増田さんはイギリスで一緒に室内楽を組んでいたりと。各々が経験したものが、良い塩梅で組み合わせられたのかと思います。

それぞれお忙しいかと思うのですが、時には合宿を開催されるなど、リハーサルは密に取り組まれているとか。

**木下** 本番のたびに、1日8時間のリハーサルを数日間行っています。皆、基本的にマイルドですが、長時間一緒に練習していると意見が異なることもあります。どれだけ優れた音楽家が揃っていても、音楽への見方はまったく違ったりするのと同じ。そこで「私もそう思う」と同意ばかりでは何も生まれません。互いに本音で語り合うことで、音楽をブラッシュアップしていきます。

**上敷領** 例えば曲の中の一つの箇所に対して4人それぞれが違う意見を持っていて、それが一回のリハーサルの中で解決できない課題があれば、一旦家に持ち帰ります。そうすると、案外翌日には新しいアイデアが生まれて、まとまったりします。パト

スは、自分や相手の音楽に対して共感、リスペクトを持って音楽を作れる場所。安心して自分の音楽ができるんです。

**チームワークの良さが伺えますが、楽器以外でそれぞれの役割を教えてください。**

**上敷領** 増田さんは、ムードメーカー。その場の空気を察知することに長けていて、皆の気持ちを盛り上げたりしてくれます。吉武さんは寡黙ですが、いろんなことを冷静に判断してくれますね。木下さんは、いろんな問題が起きたときに、うまく解決に導いてくれます。

**木下** 上敷領さんは、パトスの親のような存在。このグループを我が子のように思ってくれています。

**今回のプログラムの選曲理由や聴きどころを教えてください。まずはモーツァルトのピアノ四重奏曲第1番から。**

**上敷領** モーツァルトは演奏家にとって避けては通れないなど。ザ・フェニックスホールは素晴らしいホールなので、王道の作曲家のプログラムを用意したいと思いました。

やはりモーツァルトほどの作曲家になると、各々がすでにしっかりとイメージを持っているので、リハーサルではそれをすり合わせるのが大変。きちんと時間をかける必要があるため、結成後すぐに取り組むのは難しいだろうと思っていました。ようやく満を持して臨めるのがうれしいです。

**木下** この作品のト短調は、彼にとって特別な調性でもあります。モーツァルトにしては珍しい短調で、全員一緒にフレーズで力強く演奏が始まる。これだけでも、非常に衝撃的です。さらに作品を詳しくみていくと、変わった旋律構造があったりと、サプライズが多い。モーツァルトの中でも異色な作品ですね。

**マルティヌーのピアノ四重奏曲 第1番はいかがでしょう。**

**上敷領** これも、一定期間活動してきた常設グループだからこそ、取り組める作品です。比較的メジャーではないため、取り上げられる機会が多くありません。しかし、リズムは楽しいし、刺激性も強い。弾いている方は、拍をカウントするのに必死です(笑)。マルティヌーの音楽のロマンティックな部分や激しさ、すべて凝縮されているようです。

**木下** この作品の魅力はいくつかあって、まず第1楽章で16分音符がひっきりなしに演奏されるんです。音やフレーズの繰り返して、聴く人を興奮

させる効果がありますよね。そして最後は破裂するかのように盛り上がり、弾いているこちらがハイになります。

第2楽章は、ピアノパートが少ししか登場しませんが、マルティヌーは、弦楽ならではの美しさを引き出したかったんでしょうね。ほとんど弦楽三重奏のようです。

**ブラームスのピアノ四重奏曲はいかがでしょう。**

**木下** ピアノ四重奏をする上で、やはりブラームスは重要な作曲家です。以前、第1番を演奏したため、今回は第3番を選びました。演奏頻度が高く人気な第1番に比べて、第3番はブラームスの成熟度合いがよくわかりますし、一体感も優れています。

**上敷領** 奥行きが深いですね。冒頭からピアノが力強く鳴ったと思いきや、弦楽器が静かに弾き始める。コントラストの作り方が絶妙です。第3楽章では非常に美しいチェロの旋律が登場するので、増田さんの美しい音色は当日のお楽しみです。

**最後に、「パトスらしさ」を教えてください。**

**上敷領** 音楽でお客様の心を動かすには、頭で考えるだけでなく、心も乗せて演奏し、大量のエネルギーを放つ必要があります。そこに「情念」があるのが、パトスです。過去の演奏会で、お客様からアンケートで「自分の悩みが小さく思えた」と声をいただいたことがあります。「私たちの心が届いたのだ」とパトスらしさを再認識でき、うれしかったのが忘れられません。

**木下** 音楽や作品を通して、本当は何が伝えたいのかを追求していく。それが「パトスらしさ」です。音がすべてピツパリそろっているからといって、必ずしも素晴らしい演奏になるとは限りません。今回の演奏会でも、作品の本質を届けることにフォーカスしたいと思います。

## ティータイムコンサートシリーズ158 パトス四重奏団

2022年10月7日(金)14:00開演 \*お菓子つき  
一般3,500円 友の会会員3,150円  
学生(25歳以下)1,000円(限定数)

### ■出演

上敷領 藍子(ヴァイオリン)、木下 雄介(ヴィオラ)、  
増田 喜嘉(チェロ)、吉武 優(ピアノ)

### ■曲目

モーツァルト:ピアノ四重奏曲第1番 ト短調 K.478  
マルティヌー:ピアノ四重奏曲 第1番 H.287  
ブラームス:ピアノ四重奏曲第3番ハ短調 op.60  
(予定)

### ■チケットのお求め・お問い合わせ

ザ・フェニックスホールチケットセンター  
06-6363-7999(平日10:00~17:00 土日祝休)



ザフェニックスホール  
友の会優先予約  
7月22日(金)  
10:00 受付開始

イー・フェニックス  
E-PHX優先予約  
7月25日(月)  
10:00 受付開始

一般発売  
7月26日(火)  
10:00

インターネット予約による  
お申込みは7月27日(水)10:00から!

注目アーティストシリーズ80

2023年  
1月28日(土)

15:00開演 指定席  
一般¥3,500(友の会会員¥3,150)  
学生(25歳以下)¥1,000(限定数)

関西出身、世界最高峰のピアニトリオ現在形

葵トリオ

出演 小川響子(ヴァイオリン)、伊東裕(チェロ)、秋元孝介(ピアノ)



曲目 ショパン:ピアノ三重奏曲 ト短調 op.8  
シューマン:ピアノ三重奏曲 第2番 へ長調 op.80  
メンデルスゾーン:ピアノ三重奏曲 第1番 二短調 op.49 (予定)

2018年に最難関と言われるミュンヘン国際音楽コンクールで優勝し、世界のトップシーンを走り続ける若き俊英たちが、2020年以來再びザ・フェニックスホールに登場します。前回の演奏で彼らの虜になった方も多くと思いますが、葵トリオの素晴らしさはとにかく緻密に音楽を構築する力とそれを具現化するための鉄壁なるアンサンブル力にあります。その上で個々のソリスト的な演奏力もずば抜けており、各所で各々がこれでもかと名人芸を聴かせてくれます。彼らの演奏は本当に完成度が高く、音楽の持つ快楽を存分に味あわせてくれます。今回はショパン、シューマン、そしてメンデルスゾーンとロマン派ど真ん中の作品のみで構成されており、今の葵トリオを楽しむには最高のプログラムとなっています。前回聴いた人にはもちろんですが、まだ聴いていない人に是非ともお勧めしたい公演です。巨匠になることを約束されている彼らの現在形を存分に楽しんでください。

フェニックス・エヴォリューション・シリーズ102

主催 窪田健志 打楽器リサイタル実行委員会

2022年  
11月8日(火)

19:00開演 自由席  
一般前売 ¥3,500(友の会会員¥3,150)  
一般当日 ¥4,000(友の会会員¥3,600)  
学生(25歳以下)前売 ¥1,500  
学生(25歳以下)当日 ¥2,000

「ティンパニ」に特化した珍しいリサイタル。  
古典のソロ、室内楽から委嘱新曲までティンパニ尽くしの一夜!

窪田健志ティンパニリサイタル

「Stroke to 'B' and 'C' -BとCへの一撃-」



出演 窪田健志(ティンパニ) 賛助出演:ジョエル・ピードリッツキー(打楽器)、野田清隆、居福健太郎(以上ピアノ)  
曲目 バルトーク:2台のピアノと打楽器の為のソナタ E.カーター:「4台のティンパニの為の8つの小品」より  
J.ベック:ティンパニの為のソナタ C.カンジェローシ:委嘱作品 ほか

現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団首席奏者を務める傍ら、ソロやアンサンブルでも精力的に活動を続ける窪田健志による打楽器リサイタル。これまではマルチパーカッションや電子音響を用いたものまで様々に展開してきたが、今回はティンパニに焦点を絞り、ソロ・アンサンブルを披露する。ティンパニ独奏の為に作曲され、もはや打楽器のソロ作品としては古典とされる「4台のティンパニの為の小品」や、ドラム奏者のスティーヴ・ガッドが音大生時代に初演した「ティンパニの為のソナタ」、今や世界中で作品が演奏されない日は無い程の人気を誇る打楽器奏者兼作曲家のC.カンジェローシ氏に委嘱するソロ作品の他、室内楽の傑作である「2台のピアノと打楽器の為のソナタ」を、名古屋フィルの同僚であるピードリッツキー氏、ピアノの野田清隆、居福健太郎の両氏を迎えてお送りする。普段はなかなかソロでは聴くことのない、ティンパニの持つ様々な側面を体感できる一夜となっている。

共同主催 公益財団法人 日本室内楽振興財団、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール

## ザ・フェニックスホールに集うトップ・アンサンブル・シリーズ2022-2023

このシリーズは、当初3月に発売を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により5/25ヘンシェル・クアルテットの中止を受け、発売を延期していたものです。ヘンシェル・クアルテットの振替公演はありませんので、残り3公演を販売いたします。

セット券のご案内

## 3公演セット券

一般 ¥12,000

友の会会員 (お1人様2枚まで) ¥11,000

※3公演セット券・学生券は当ホールチケットセンターのみのお取り扱い  
※1公演毎のご購入も可能です。9/12(月)  
19:00グラミー賞が煌めく新時代の旗手  
アタッカ・クアルテット一般5,000円(友の会会員4,500円)  
学生(25歳以下/限定数)1,500円  
指定席

■出演

エイミー・シュローダー、ドメニコ・サレーニ(以上ヴァイオリン)、ネイサン・シュラム(ヴィオラ)、アンドリュー・イー(チェロ)

■曲目

ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第10番 変ホ長調「ハーブ」op.74      キャロライン・ショウ:Entr'acte  
ポール・ウィアンコ:Benkei's Standing Death(「弁慶の立ち往生」)      ラヴェル:弦楽四重奏曲 へ長調 (予定)

©David Goddard

12/11(日)  
15:00日本の俊英たちが重ねあう甘美な響き  
アンサンブル・ミクスト一般4,500円(友の会会員4,050円)  
学生(25歳以下/限定数)1,500円  
指定席

■出演

梶川真歩(フルート)、本多啓佑(オーボエ)、尾上昌弘(クラリネット)、嵯峨郁恵(ホルン)、中田小弥香(ファゴット)

■曲目

ミヨー:木管五重奏のための2つのスケッチ      モーツァルト:セレナード 第12番 八短調 K.388  
ライヒャ:木管五重奏曲 二長調 op.91-3      ヴィラ=ロボス:ショーロの形式による五重奏曲 (ほか)(予定)2023  
2/26(日)  
15:00深い歴史解釈に裏付けられたクリアサウンド  
ドーリック・クアルテット一般5,000円(友の会会員4,500円)  
学生(25歳以下/限定数)1,500円  
指定席

■出演

アレックス・レディントン、イン・シュー(以上ヴァイオリン)、エレネ・クレマン(ヴィオラ)、ジョン・マイヤースコウ(チェロ)

■曲目

ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第11番 へ短調「セリオソ」op.95      ハイドン:弦楽四重奏曲 二長調 op.50-6  
ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第12番 変ホ長調 op.127 (予定)

©George Garner

## ホール主催・共催・協賛・協力公演チケットのお申込み方法

06-6363-7999

土・日・祝日を除く平日の10:00~17:00

- ザ・フェニックスホール友の会優先予約
  - ・ザ・フェニックスホール友の会会員様の優先予約日です(電話予約のみ)。
  - ・主催公演1公演につき会員お1人様2枚まで1割引でお求めいただけます。チケット購入の際、枚数制限はありませんが、3枚目以降は一般価格となります。
  - ・友の会への入会をご希望の方は、チケットのお申込み時にお電話でお申しつけください。同時に優先予約をお受けすることができます。その際、年会費1,000円が別途必要となります。
- E-PHX(イー・フェニックス)優先予約
  - ・E-PHX(イー・フェニックス)にご登録の方の優先予約日です(電話予約のみ)。
  - ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。
  - ・事前にザ・フェニックスホールホームページ、ホール会員のページからご登録ください。お電話での登録はできません。
- 一般発売
  - ・一般発売日は、電話予約のみのお申込みとなります。
  - ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。

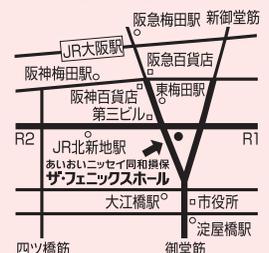
https://phoenixhall.jp/

チケットセンターのページからお申込みください

- インターネット予約(主催公演のみ)
  - ・ザ・フェニックスホールホームページ、チケットセンターのページからお申込みください。
  - ・チケット予約フォームに記載のない公演につきましてはおそれ入りますが電話でお問合せください。
  - ・ホームページ更新の都合により、売表示のない公演でもお申込み時には完売となっていることもございます。どうぞご了承ください。
  - ・学生券のインターネットによるご予約は受付いたしておりません。
  - ・チケットご予約フォーム送信後、営業日3日以内に座席の有無、座席番号、入金方法につきまして確認メールをお送りいたします。

直接のご来店による  
お申込み

- ・ザ・フェニックスホールチケットセンターはホール建物8階、エレベーターを降りて廊下右手です。



## チケットお申込み後のお受け渡し方法

電話予約後に郵便振込をしていただき、入金確認後にチケットをご郵送させていただきます。皆様のお手元にチケットが届きますのはご入金をいただいてから約10日後となります。その際、振込手数料はお客様にてご負担ください。尚、郵送は簡易書留(一律420円)のみとさせていただきます。

振込口座 00940-0-95351 加入者名 ザ・フェニックスホール

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール協賛・協力公演のご案内 ザ・フェニックスホール友の会会員の方には割引特典があります。当日券をお買い求めの際は会員証をご提示ください。

協賛  
公演

“KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka”  
The 25th Anniversary Series by Kojima Concert Management ~関西圏の最大拠点 梅田で展開する藝術音楽~  
ヤン・スンウォン&エンリコ・パーチェ ベートーヴェン:チェロ・ソナタ全曲演奏会(長時間公演)

主催 コジマ・コンサートマネジメント

発売中

2022年10月5日(水) 18:30開演(21:00終演予定) 指定席  
前売・当日¥6,000(友の会会員¥5,400) レイトタイムシート¥4,000(詳細はチラシをご覧ください) ※友の会割引は前売のみ。限定数。

出演 ヤン・スンウォン(チェロ)、エンリコ・パーチェ(ピアノ)  
曲目 ベートーヴェン:  
チェロソナタ 第1番 へ長調 op.5-1、  
第2番 ト短調 op.5-2、第3番 イ長調 op.69、  
第4番 八長調 op.102-1、第5番 二長調 op.102-2

パリのサル・プレイエル、シェンゼリゼ劇場、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ウィーン・ムジークフェラインなど超一流のコンサートホールで演奏。英グラモフォン誌からも絶賛される名チェリスト ヤン・スンウォンが、長年の盟友でフランツ・リスト国際コンクール優勝の名手 エンリコ・パーチェと共にベートーヴェンが生涯を通じて記したチェロソナタ全曲を演奏。



協賛  
公演

Quartet Exploce ツアー 2022

※友の会割引はお1人様2枚まで。  
学生前売¥1,500 学生当日¥2,000

主催 Quartet Exploce

発売中

2022年10月21日(金) 19:00開演 指定席 一般前売¥3,500(友の会会員¥3,150) 一般当日¥4,000(友の会会員¥3,600)

出演 市寛也、高木慶太、辻本玲、森山涼介(以上チェロ)  
曲目 J.S.バッハ(ヴァルガ編):シャコンヌ  
ポッパー:2つのチェロのための組曲 op.16  
クライン:叙情的断章 op.1a  
ピアツェリ:ヴァカンスにて  
クレンゲル:即興曲 op.30、2つのチェロのための組曲 op.22  
ペルト:主よ、平和を与えたまえ

カルテット・エクスプローチェ、今年も開催致します!シャコンヌはもちろん、今年チェロのことを熟知した作曲家がチェロのために書いたオリジナル曲を中心にプログラムを組んでおります!もう一つの目玉として、チェロ四人ではなく、チェロ二本で演奏されるデュオも初めて披露します。二曲とも超絶技巧ですので皆様楽しみにしててください。白熱のチェロの饗宴をぜひ会場でお待ちします!



協賛  
公演

藤原道山×SINSKE ~尺八とマリンバによる世界最小オーケストラ~  
【昼公演】 Piazzolla -ブエノスアイレスの四季 【夜公演】 Piazzolla -タンゴの歴史

主催 ベスnotes合同会社  
株式会社DO  
株式会社MUNIQUE

発売中

2022年10月22日(土) [昼公演]13:30 開演 [夜公演]17:00 開演 指定席  
一般前売¥5,000(友の会会員¥4,500) 一般当日¥5,500(友の会会員¥5,000) 学生前売¥2,500 学生当日¥3,000

出演 藤原道山(尺八)、SINSKE(マリンバ)  
曲目 ピアソラ:  
ブエノスアイレスの四季(昼公演のみ)、タンゴの歴史(夜公演のみ)、  
オペリビオン(忘却)、ピブラフォニッシモ、エスクアロ(鮫)、  
アディオス・ノニーノ、新作オリジナル ほか(予定)

昨年、活動開始10周年を迎えた「藤原道山×SINSKE」が、没後30年を迎えるタンゴの革命児「アストル・ピアソラ」の名曲の数々を、昼・夜公演の演奏曲を一部変更してお届けします。尺八とマリンバ、世界に類のない唯一無二のデュオが奏でるピアソラの新たな魅力をお楽しみ下さい。



協賛  
公演

“KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka”  
The 25th Anniversary Series by Kojima Concert Management ~関西圏の最大拠点 梅田で展開する藝術音楽~  
グラナドス:ピアノ組曲『ゴイエスカス』全曲~恋する若者たち ピアノ:クンウー・パイク

主催 コジマ・コンサートマネジメント

7/28(水)  
発売

2022年10月25日(火) 19:30開演(18:30開場/20:40終演予定) 指定席  
<特別価格>前売・当日¥5,000(友の会会員¥4,500) ※友の会割引は前売のみ。限定数。

出演 クンウー・パイク(ピアノ)  
曲目 グラナドス:ピアノ組曲『ゴイエスカス』(全曲)  
※休憩無し。想定演奏時間:約65分。

フランス・パリを拠点に国際的に高い評価を獲得。1969年ブゾーニ国際ピアノコンクール金賞。近年はドイツ・グラモフォンよりシヨパン:ノクターン全曲やシューマン作品集、さらに2022年には本公演で演奏するグラナドス:「ゴイエスカス」全曲リリースされるなど巨匠の道を歩む。2000年フランス政府より芸術文化勲章シュヴァリエ賞授章。



協賛  
公演

“KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka”  
The 25th Anniversary Series by Kojima Concert Management ~関西圏の最大拠点 梅田で展開する藝術音楽~  
島田真千子(ヴァイオリン) & 広瀬悦子(ピアノ)

主催 コジマ・コンサートマネジメント

7/25(金)  
発売

2022年11月9日(水) 19:00開演 指定席 前売・当日¥5,000(友の会会員¥4,500) ※友の会割引は前売のみ。限定数。

出演 島田真千子(ヴァイオリン)、広瀬悦子(ピアノ)  
曲目 モーツァルト:ヴァイオリンソナタ 変ロ長調 K.454  
プロコフィエフ:ヴァイオリンソナタ 第2番 二長調 op.94bis  
イザイ:無伴奏ヴァイオリンソナタ 第3番 二短調 op.27-3  
フランク:ヴァイオリンソナタ イ長調(セザール・フランク生誕200周年記念)

サイトウキネンオーケストラ、水戸室内管弦楽団、ヴェリタス弦楽四重奏団のメンバーとして、さらにセントラル愛知交響楽団ソロンコンサートマスターを務めながら、本拠地を大阪に移しつつも、依然として全国的に多忙な演奏活動を展開しているヴァイオリニスト 島田真千子と1999年マルタ・アルゲリッチ国際コンクールで優勝以来、パリを拠点に国際的な活躍を続ける広瀬悦子とのデュオは2020年11月に続き2度目。フランクのソナタは同シリーズでオーレン・シュヴリグがチェロで弾いているが今年は生誕200周年なので再度ヴァイオリンで!



協賛  
公演

稲垣聡 ピアノリサイタルシリーズ(全3回)《ルートヴィヒの遺言~最後の3つのソナタとともに~》  
Vol.II “不屈の魂” L.v.ベートーヴェン+B.バルトーク

主催 サウンドinn企画

7/25(月)  
発売

2022年11月10日(木) 19:00 開演 自由席  
一般前売¥3,500(友の会会員¥3,150) 一般当日¥4,000(友の会会員¥3,600) 学生前売¥2,000 学生当日¥2,500

出演 稲垣聡(ピアノ)  
曲目 ベートーヴェン:6つのバガテル、ピアノソナタ 第31番 変イ長調 op.110  
バルトーク:舞踊組曲(1923)、ミクロコスモスより、ピアノソナタ(1926)

バッハから新作初演、他ジャンルとのコラボレーションなど、多彩な活躍をみせる稲垣聡(相愛大学教授)が、音楽生活25年とベートーヴェン・イヤーを機に“最後の三つのソナタ”と“20世紀の作曲家の作品”を交差したプログラムによる3年プロジェクトを昨年よりスタート。今年第2弾はベートーヴェン、そしておなじく波瀾万丈ながら独自のスタイルを貫いたバルトークの世界「不屈の魂」をお届けします。



協賛  
公演

# ファイブ・スターズシリーズ in ザ・フェニックスホール

主催 日本コロムビア株式会社

7/26(火)  
発売

5公演セット券 ¥15,000

友の会会員 ¥14,500

※5公演セット券は当ホールチケットセンターのみのお取り扱い。  
※1公演毎のご購入も可能です。  
※セット券、単券ともに友の会割引はお1人様2枚まで。



## 林周雅ヴァイオリン・リサイタル

2022年10月8日(土) 14:00開演 指定席 前売¥4,000(友の会会員¥3,600) 当日¥4,500(友の会会員¥4,050)

出演 林周雅(ヴァイオリン)、ロー磨秀(ピアノ)

曲目 クライスラー:前奏曲とアレグロ  
ビュータン:  
アメリカの思い出「ヤンキー・ドゥー・ドゥル」  
林周雅:新作未発表曲

東大阪市出身。2017-18年スーパーキッズオーケストラにてコンサートマスターを務める。東京藝術大学卒業。題名のない音楽会のプロジェクト「題名プロ塾」でプロデューサー。クラシックヴァイオリニストとして室内楽などで活躍する傍ら、ポップス系の歌番組でのストリングスや、平原綾香、石井竜也、ピーボ・ブライソンなどとも共演するマルチな活動をしている。クラシックをベースに持ちながら多ジャンルにも積極的に挑戦している林周雅が満を持してリサイタルを開催する。クラシックファンのみならず初めてクラシックを聴く人にも楽しんでいただける名曲を演奏します。



## 菊池亮太ピアノ・リサイタル

2022年10月8日(土) 19:00開演 指定席 前売¥4,000(友の会会員¥3,600) 当日¥4,500(友の会会員¥4,050)

出演 菊池亮太(ピアノ)

曲目 未定

菊池亮太は、数々の国際ピアノコンクールで入賞している他、ゲーム音楽の作曲、CMソングの提供なども行っており、YouTubeピアノ界随一の実力者。自身のYouTubeチャンネル『菊池亮太 Ryota Kikuchi PIANO』は596万回以上再生されている動画など、幅広い世代から人気を集めている。2021年8月菊池亮太念願の日本屈指のクラシック殿堂ホールである、サントリーホールでリサイタルを開催し即完了。



## 徳永兄弟(フラメンコギターデュオ) アコースティック・コンサート

2022年10月9日(日) 14:00開演 指定席 前売¥4,000(友の会会員¥3,600) 当日¥4,500(友の会会員¥4,050)

出演 徳永健太郎、徳永康次郎(以上フラメンコギター)

曲目 チック・コリア:SPAIN  
ピアソラ:リベルタンゴ  
徳永兄弟:Viajero del alma 魂の旅人  
Buleria de Padre プレリアデパドレ ほか

結成10周年の2022年からクラシックコンサートホールにもステージを広げ、より凝縮された編成で二人の今の音をお届けする。「ニューフラメンコ」というニュー・アルバムのタイトル通り、フラメンコのスタンダード楽曲から、クラシック、ラテン音楽、ケルト音楽、ロックなど、ジャンルを問わず様々なリズムの音楽を、彼らならではのアレンジにより「情熱的」で「激しい切ないリズム」に胸がうずくような音楽として繰り広げ、「新しいジャンル」が誕生する。



## 長富彩ピアノ・リサイタル

2023年2月11日(土) 14:00開演 指定席 前売¥4,000(友の会会員¥3,600) 当日¥4,500(友の会会員¥4,050)

出演 長富彩(ピアノ)

曲目 C.シューマン:即興曲  
R.シューマン:謝肉祭 op.9  
ブラームス:4つの小品 op.119 ほか

大阪拠点に活動している人気ピアニスト。2021年ビクターより「夜のガスパール(ラヴェル)」のCDをリリース、2年連続でザ・フェニックスホール出演となる。本公演はシューマン×クララシューマン×ブラームスを取り上げます。



## 猪居亜美(ギター) CLASSIC×ROCK

2023年2月12日(日) 14:00開演 指定席 前売¥4,000(友の会会員¥3,600) 当日¥4,500(友の会会員¥4,050)

出演 猪居亜美(ギター)

曲目 X JAPAN:紅, ENDLESS RAIN  
パガニーニ:カプリス 第24番 ほか

昨年に続き2年目のザ・フェニックスホール公演。CLASSIC×ROCKのシリーズ第2弾の本公演は、日本を代表とするX JAPANなどを取り上げクラシックギターでスタイリッシュに奏でます。クラシックとロックのどこか共通するサウンドをお楽しみください。

あいおいニッセイ同和損保  
MS&A INSURANCE GROUP

地域の皆さまとともに。

弊社は、地域密着を行動指針の一つとする企業経営を行っており、弊社およびグループ企業にて培ったノウハウを活かし、地方創生における「まち・ひと・しごと」の各分野において地域社会、地域企業のお役に立ちに向けた支援を行っております。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1 <https://www.aioinissaidowa.co.jp/>

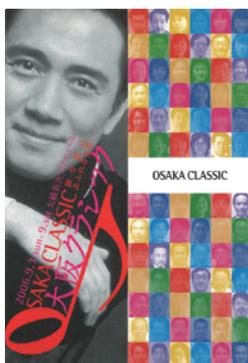
## 大阪らしさを体現するクラシックの祭典



毎年9月、大阪のメインストリートである御堂筋と水の都大阪を象徴する中之島エリアで開催している音楽イベント「大阪クラシック」が、コロナ禍によって通常開催できずにいる。

大阪フィルハーモニー交響楽団の第2代音楽監督を務めた大植英次(現桂冠指揮者)の発案で2006年から始まったこの他に類を見ないイベントは、街中のオフィスビルのロビーやカフェ、ホテルなどで一週間に渡って開催されるビッグイベントだ。主催は大阪市と大阪フィル、2年目からは御堂筋まちづくりネットワークが加わって、以後3者による実行委員会で運営してきた。あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールも2年目からレギュラー会場になっている。出演者は大阪を本拠とする演奏団体(大阪フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、日本センチュリー交響楽団、Osaka Shion Wind Orchestra)のメンバーが中心で、全81公演(コロナ前)の内ほとんどが数人のアンサンブルによる無料コンサートだ。このイベントは、大植マエストロが大阪市民にクラシック音楽をもっと身近に感じて欲しいという思いから「普段お客様にコンサートホールへ来てもらっているオーケストラのメンバーが、ホールを飛び出し、街行く人たちに音楽を届けよう!」というコンセプトで始まった。昨年までの16年間で延べ1,161公演、62万人を超えるお客様にご来場いただいている。

そしてこのイベントの大きな特徴は、一つひとつの演目を楽団員が自由に決めている点にある。「大阪クラシック」はメンバーの自発性や独自性を大切にし、毎回あえて統一したテーマを決めていない。普段オーケストラの一員として演奏しているメンバーが、このイベントでは主役となって担当公演をプロデュースし、本番では選曲の理由を自らお客様



に語って演奏する。その思いが音楽をさらに生き生きとしたものにするからだ。そしてもう一つ特筆すべきは、この音楽祭を盛り上げ支えてくれているお客様の存在だ。一週間で81公演実施するために、数名のスタッフが一日に3~4公演担当し、会場を転々としながら、会場設営→リハーサル→お客様の列整理→本番→原状復帰、を繰り返す。そのため次の会場に移動した時には、気の早いお客様がすでに会場で待っておられることも多い。だがこのイベントでは、常連のお客様が自主的に列を作ってくれ、初めてこのイベントに来たとおぼしき人には「ここで並んでたらそのうちスタッフの人が来て誘導してくれるよ」と言って、知らない人同士でわいわいと談笑していたりする。他にも「こんな所(ロビーの床)で座って聴くんか!」と苦情を言う人などにも「ただで聴くのになんか言ったらあかんぞ!嫌やったら帰り!」とたしなめてくれたりする。これを視察に来ていた東京の業界関係者が見て、大阪人のコミュニケーション能力と臨機応変さに驚き、これはもう「大阪の文化ですね」と感心していた。

しかしこうした正に大阪らしい、演奏者とお客様が一体となって盛り上げる音楽祭も、2020年と2021年はコロナの影響



で、指定席で聴いて頂く有料公演と、動画配信による無料公演のみに規模を縮小せざるをえなくなった。今年も開催できるかどうか分からないが、大植マエストロは「本当は私たちの目の前で肩を寄せ合って聴いてほしいけれど、一番大事なのはお客様の安全と安心。今は音楽を聴いて平和な気持ちを寄せ合って欲しい」と語ってくれた。いつの日か街が平常を取り戻し、またあの活気溢れる「大阪クラシック」が蘇ることを願いながら。

(大阪フィルハーモニー交響楽団 事務局長 福山修)

